

社員の「芥川賞」受賞で 一気に注目度がアップ

三井物産

2位の三井物産。ここ2週間ほど、株価は上昇の1途だ。今月に入ってから、電気自動車など環境車の電池材料として需要の急増が見込まれているリチウムをカナダから大量調達する、と報じられたことが好感された。また、原油や非鉄などの資源高や、日本とモンゴルの両政府がウラン分野の共同開発に関する覚書を

は、三井物産の人事総務部人材開発室次長というサラリーマン作家。デビューして2年。これまで勤務先を明かしておらず、今回の受賞で初めて「三井物産」とわかり、注目度が高まった。会社のイメージアップにも貢献か。

企業価値検索サービス ユーレット アクセス上昇ランキング (7月19~25日)

を交わしたことが、商社株全体への追い風になっていることも影響している。

が、ランキング急上昇の最大の理由は、そういった外部環境ではない。社員の「芥川賞」受賞だ。「終の住処」で第141回「芥川賞」に輝いた磯崎憲一郎氏(44)

	銘柄	取引所	株価(円)
1	コスモスイニシア	ジャスダック	43
2	三井物産	東証1部	1171
3	トヨタ自動車	東証1部	3750
4	凸版印刷	東証1部	950
5	鹿島建設	東証1部	266

※24日終値。http://www.ullet.com/

ユーレット 上場企業400社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。